

ながい 議会だより



9月議会定例会
町づくりを問う

一般質問(9議員)

議会改革検討協議会

②

⑥

⑪

スイング♪スイング♪スイング 中井中学校吹奏楽部



第161号

平成24年11月15日発行

神奈川県中井町議会

E-mail gikai@town.nakai.kanagawa.jp

九月定例会

平成二十三年度決算認定

平成二十四年第三回中井町議会定例会を九月四日から十四日までの十一日間にわたり開会した。

平成二十三年度一般会計と特別会計五会計の決算の認定、行政報告を受け、解散案件一件、一般会計他三会計の補正予算について提案され、いずれも原案のとおり可決し、各種報告を受けた。教育委員会委員の人事案件についても、原案のとおり同意した。また、選挙管理委員会委員及び補充委員の選挙を実施した。

一般質問は九名の議員が十三問にわたり行った。

決算 主な質疑・応答

一般会計歳入

問 特別交付税の額が著しく変動しているが、その訳は。

答 例年の交付額について見通しがたないとの国より連絡があり減額したが、急ぎよ、国より交付されることになったことによる。

一般会計歳出

総務費

問 経常収支比率が九一%

答 自治基本条例の必要性、役割が認識された。

問 自治基本条例策定について、講演会が行なわれたがその評価は。

答 通常の除草作業と、松本地区の要望で樹木の伐採が増えた。

問 公共用地維持管理委託料が増額になった理由は。

答 歳入の大幅な下落があった。

問 と、非常に高い数値の要因は。

答 境コミュニティセンター電気代は、ソーラーシステムがあるのでもっと安く出来ると思うが。

問 センターの太陽光発電施設は、売電という形を取っている。

答 生活交通維持対策費の委託料の内訳と、境地区バス路線負担金の増額は。

問 委託料はアンケート調査を実施。負担金は車両経費、人件費の増、利用者の減で金额的には増加傾向にある。

民生費

問 老人クラブは三団体だけに減ってしまったが、今後の方針は。

答 老人クラブ連合会で普及啓発を行っていくが、今後のあり方も含め、検討していく。

問 保健福祉センターの修繕費が二五七万円かかっているがその原因は。

答 空調関係の故障が一六四万円の実績。

問 子育て支援センターの利用状況は。また手狭になった対策は。

答 二十二年度に比較し五千六百六十一人と伸びている。二十六年度に向けてこども園化を進めているので、その中で施設のある方も含め検討。

衛生費

問 口腔ケアは他の病気に関係するが、今後の考え方は。

答 寝たきり老人に対し、介護保険の中でも普及啓発の予算を取っていて、歯科医師と連携を図る。

問 二十三年度から五年間の継続事業で生物多様性調査をされるがその成果と今後の。

答 神奈川県レッドデータのうち十九種を発見。最終的には冊子にまとめる予定だが、中間での公表も考えている。

問 子宮頸がんワクチンの接種状況は。

答 対象者百八十一名のうち百四十七名、八一・二%が接種。

問 犬の狂犬病予防注射の状況と未実施対策は。

答 登録数は七百五十一頭。注射頭数は六百九十六頭。未実施者には、はがきで促進対応。

問 手動式生ごみ処理機の能力調査とその普及対応は。

答 生ごみの六三%が削減されるとの結果をもとに、広報で周知し、一万円の補助という形で普及啓発を図る。

問 不法投棄対策予算を計上したが、その結果と効果は。

答 非常勤職員を雇用し、昼夜監視・回収作業を行い、回収量は増加。

問 開成町にある休日救急診療所の利用状況は。より身近な場所への指定は。

答 二十六件で全体の一%。一市五町との付き合いの中でやむを得ず継続している。時期を見て話をする。

問 ごみの運搬料が増加している。人口は減っているのにごみの量はどうなっているのか。

答 二十二年程度までは若干減っていたが、二十三年度は五〇七強の増加。人口が減る中でなぜ増えたのか分析し、減量のための運動に取り組みたい。

農林水産業費

問 農業振興費と畜産業費に多額の不用額が発生しているがなぜか。

答 前者については茶業振興補助金の未使用、後者は施設補助などの未使用などが主な理由。

商工費

問 観光事業サポーター費について。

答 現在、四十八名が登録、竹灯笼、里山体験事業、フェスティバルの手伝いをお願いしている。

問 神奈川特産コーナー復興プロジェクト負担金、一〇万円について。

答 二十三年度限りで、全国町村会が主催し、売り上げを被災地に支援した。

土木費

問 急傾斜地崩壊防止工事は、現時点であと何力所くらい残っているか。

答 町全体の中では五棟以上住宅があるところが五十七カ所、現在のところ六カ所が、工事中も含め完了している。

問 厳島湿生公園のホタル養殖委託と自然発生地区について。

答 従来は二カ所でしたが、境の蛍公園は水質の悪さで断念。厳島湿生公園の水質を改善し堅持しながら、自然発生地区の環境を大切にしたい。

消防費

問 井戸水水質検査委託の目的と実績は。

答 十九カ所の井戸を「災害時防災井戸」とし、水質検査を毎年実施。

教育費

問 中村小プール改修工事が予算額を上回ったか。

答 見込んでいなかった機械工事があった。

問 文化財保護委員選任のルールは。

答 文化歴史に興味のある方を町で選定してお願いしている。

問 小中学校のコンピュータ借り上げの効果は。

答 ICT化は進んでいくが、授業時間やスタッフが不足し、成果をあげるには厳しい状況にある。

国民健康保険特別会計

問 国保への一般会計の繰入は剰余金が出てても支払準備基金に積み立てておくべきではないか。

答 高額医療などの医療費の高騰には、一般会計か

ら補填する方針。

下水道事業特別会計

問 工事発注は国の交付決定後に前倒しできないか。

答 夏まで統計資料などの業務があり、設計も実質一人体制。来年は改良して発注したい。

水道事業会計

問 宮原水源配水管引き込み工事で水質改善の目的は達成されたか。

答 宮原水源の水を富士見台系の水で希釈できるようにした。自動運転できるように今年度工事を行うよう手配している。

解散案件

◎中井町土地開発公社の解散について

土地開発公社は、土地の先行取得により公有地の確保等に努め、地域の健全な発展に寄与してきたが、社会的な状況の変化に伴い、土地開発公社による公有地の先行取得の意義が薄れた

こと、当面先行取得の事案も考えにくいことから、負債のない現状において解散とした。

補正予算

今回可決した補正予算の主なものは次のとおり。

一般会計

五〇八万九千円の追加で、総額は三十八億九、八五二万五千元に。

総務費

庁内システムのネットワーク再構築委託料として、四五三万八千円計上。

土木費

井ノ口歩道橋の耐震構造調査点検委託料として新たに二二〇万円計上。

住宅リフォーム補助金の追加として二五〇万円計上。

下水道事業特別会計への繰出金を六七万八千円減額。

国民健康保険特別会計

前年度の国庫補助金の精

算に伴う返納金等として二、分として、国庫支出金・支三九三万円の追加で、総額は十二億九、六五四万八千円に。

介護保険特別会計

施設介護サービス給付費の追加として五〇〇万円、前年度保険給付費等の精算

下水道事業特別会計

国庫支出金の減額、前年度繰越金の増額による一般会計繰入金及び町債を減額。

中井町教育委員会委員の任命

現教育委員会委員、須藤黎子氏、川瀬祐司氏が九月三十日をもって任期満了となるので、左記の新委員について同意を求められ、全員賛成で同意しました。

- 中井町雑色 城所祐子氏
- 中井町井ノ口 津坂紀男氏

選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

地方自治法一八二条の規定により、選挙管理委員会委員及び補充員の選挙を指名推薦で実施した。

当選告知書を議長が発行した。選挙管理委員会委員は、四名で構成される。

- 中井町松本 山口幹雄氏
- 中井町井ノ口 佐藤雅幸氏
- 中井町境 井上謙一氏
- 中井町北田 安武トミ子氏
- 同補充員四名
- 中井町雑色 山口英夫氏
- 中井町井ノ口 早田保氏
- 中井町境 相原孝直氏
- 中井町遠藤 峯尾進氏

あなた自身で
議場の雰囲気
を
次回の定例会は
12月4日の開会予定です。
どなたでも、お気軽にどうぞ！
役場庁舎3階議会傍聴席入口にて、名簿帳に
名前を記入するだけです。出入は自由です。

算る
対
反対討論

小沢長男議員

二十三年度町の一般会計では、個人町民税が昨年より二、五五二万円減収し、生活苦から納められない個人町民税額が二、三二〇万円になり、町民の生活も厳しく、国保税も六、二三〇万円も納められなくなっています。これ以上の国保税増税は、さらなる貧困を生み、安心して医療にかからなくするものです。国保会計を安定させるために保険給付費支払準備基金の積み立てを求める。

民主・自民・公明三党合意による子ども手当での廃止、児童扶養手当の削減や年少扶養控除廃止による増税は、子育て世帯の暮らしに大きな打撃となります。

町民の生活も厳しさを増す中で、町民の健康を守るための各種ワクチンの接種の助成や中学校卒業までの医療費の無料化、福祉送迎や木造住宅の耐震化促進、教育や町民の命や暮らしを守る施策などは評価します。広域消防グラウンドデザイ

ンでは、広域化により現在の中井分遣所を廃止することになっているにもかかわらず、広域化を決めたことには強く反対します。

生涯学習センターは建設費だけでなく、維持・管理費に莫大な経費がかかります。今建設すべきではなく、児童館や自治会館の有効な利用を検討すべきです。町民の所得も減り、町財政も厳しくなっている。消費税が増税ならば、さらに深刻な不況に陥ります。町民生活を支える財力を失うような箱物建設やパークゴルフ場増設はすべきでない。

町立中村保育園は、廃園せずに存続すべきです。学校給食の業務委託は、偽装請負の疑いがあります。宮原水源の亜硝酸態チツソの水質改善、豪雨に耐える中村・藤沢川の整備等を求め、消費税増税に反対し、大規模な県民生活切捨ての神奈川臨調を撤回させ町民の命・健康と生活を守る町政を求め反対の討論とする。

算る
対
賛成討論

小清水招男議員

平成二十三年度の決算は、歳入四十一億三、一三三万三千円、歳出三十八億八、二二三万九千円でした。

主な成果は「福祉送迎サービス事業」で、移動が困難な高齢者や障がいのある方を対象に通院や買い物等への送迎を行うことで、社会参加を促し移動の利便を図り、喜ばれています。

「ごみ減量化・3Rの推進事業」では、エコモニタ―による手動式生ごみ処理機の検証、剪定枝のチップ化などを行い、ごみの減量化・再資源化の実証が図られました。今後の普及に期待します。

任意予防接種については、神奈川県子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業の、子宮頸がん予防ワクチンの接種事業に加え、新たにヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの接種事業を実施しました。

次に、「橋りよう長寿命化修繕計画策定事業」として、東名跨道橋六線をはじめ、

め十五m以上の橋りよう四十四橋の、橋りよう長寿命化修繕計画の策定です。計画的な修繕を期待します。

「電算広域化推進事業」各種電算処理システムについて県内十四町村による一部事務組合が設立され、電算処理システムの共同運用の基礎ができました。今後関係経費の削減と業務の効率化が望めます。

以上、主な成果についての意見を致しましたが、本町の歳入の中に多額の未収金と不納欠損金があることも事実です。

低所得者など生活弱者に配慮しつつ税の公平負担の観点からも、今後も回収に努めていただきたいと考えます。

また、決算審議での意見や監査指摘事項につきまして、真摯に受け止めるとともに継続的な改善をしていただきたいと考えます。

平成二十三年度中井町一般会計の決算認定に当たり賛成の討論とします。

算る
対
賛成討論

武井一夫議員

中央公園パークゴルフ場は、オープン以来利用者数が延べ百万人を数え、連日多くの方々が町内外から訪れ、仲間づくり、体力づくり、交流の場としてにぎわいを見せています。

しかし、パークゴルフの人氣が上がれば上がるほど混雑により待ち時間が長く、プレーの回数が減り、初心者や家族連れからも不満の声が聞かれます。

今回の陳情は、パークゴルフ場の混雑の解消と、町内外からの交流人口の更なる増加を図り、「にぎわいと活力ある町づくり」の手段として、パークゴルフ場を増設し、三十六ホール化を求めています。

三十六ホールのコースは、全国規模の大会も開催でき、

本陳情は、平成二十四年第二回定例会で平成二十四年陳情第一号として委員会付託され、休会中の審査の結果、総務経済常任委員会委員長から不採択の報告がされ、本会議で採決の結果、賛成少数で不採択となりました。

大勢の愛好者が中井町に集まってきました。人が集まらなければ何も生まれません。にぎわいも活力も様々な経済効果も生まれません。

行政も競争です。いかに他の自治体より優れた政策を創り、町を豊かに出来るか手腕が問われています。

パークゴルフは、年間を通して多くの交流人口を呼び込める町唯一の施設です。使用料収入も、二十三年度は二、二五〇万円が町の財源になりました。

町の将来を見据え「にぎわいの町・活力のある町」の実現のためにも、パークゴルフ場の増設は必要です。以上の事から本陳情に対し、賛成の討論とします。

陳情する 反対討論

小沢長男議員

日本経済が長引く不況から抜け出せず、町の税収も落ち込み、町財政も町民の生活も厳しくなっています。消費増税、PPP参加で日本経済は奈落の底に突き進みます。民主・自民・公明の三党により消費税増税と社会保障改悪の「一体改革」法が強行され、神奈川臨調は、社会保障関係の補助を含み、団体や市町村への補助金を原則廃止とした。さらに町財政・町民生活の

危機が直前に迫っている時、町民生活を支える財政確保が優先です。町民の生活が安定して、町民が潤ってこそ「活力ある町」になる。増設費用は町財政に悪い影響を及ぼす。スポーツ基本法は、「スポーツを通じての豊かな生活の営みは、国民の権利」としている。中央公園の野球場と多目的広場は、多くのスポーツ愛好者がスポーツをする環境に整えなければなりません。パークゴルフ場を二倍に増設する用地がないことは明らかです。三十六ホールを求めると、他の土地を求めて整備することになります。そのような財源の調達はできません。

また、陳情は「技術力の差による初心者、家族連れが敬遠されている」と指摘していますが、プレイする人達のマナーが大切であり、増設で解決するものではないと考えます。以上の主な反対意見を持って、パークゴルフ場増設の陳情に反対します。

財政硬直化の厳しさに直面しているなか、長年の懸案だった交通対策などとの優先順位において、パークゴルフ場の増設は、財源に余裕がある段階でできる政策であると判断します。コース増設のみで七、八千万円との町の試算、代替駐車場の確保、多目的広場への影響などが明らかで、中井中央公園のトータルなデザインの見直しも考えねばなりません。さらに、中

陳情する 反対討論

戸村裕司議員

中央公園は、利用者へのサービスを増し、交流人口を呼び込むために、指定管理者制度への移行段階に入っています。諸々の変更が加わることは、双方にとって都合なことであると考えます。討論にもあったとおり、増設によって公式大会が開けるメリットもありますが、だれが大会を担うのか、そうした人の要素も課題と捉えます。中井町パークゴルフ

フ協会は、七月末、初めての初心者向けパークゴルフ教室を開催しました。その試みに感謝します。にぎわいと活力ある町づくりの中心は、施設ではなく、人です。その視点から、陳情書を読み直せば、その行間にみえざるものは、まちづくりへの情熱を持つ人の熱い思いです。そこで町民、行政、そして、私たち議員が、意見交換を行い、よりよい町づくりに生かしていく町づくりコンファレンスの開催を提案し、反対討論とします。

陳情する 賛成討論

一宮章悟議員

少子化や高齢化と社会構造の変化による、人口減少、企業の撤退による人口流失で地域の活力が減少しているなか、中井町も例外ではありません。住みよいまちづくりは、行政主導から町民を主体とした地域との協働が求められています。町を愛する地域の人達が町を元気にさせようと、「にぎわいと活力のあるまちづくり」の施策として、県下でも良質なコースと集

客率ナンバーワンの実績を持つパークゴルフ場を更に増設し、これまでのノウハウを活用し、少ない投資で、他町にない高品質な首都圏一の施設をつくり、中央公園周辺の緑と景観を組合せ、東名高速を利用した日帰り観光資源として、近隣市町や首都圏から「水と緑・パークゴルフの町中井」をPRし、交流人口を増やし、地域経済へ波及効果と財源確保を目指し、町議会と共

に実現の夢と希望を託し陳情されました。八月八日には開場以来、十一年で百万人を達成し記念品の贈呈が行われました。年間三〇〇日開場し、町内外の方の健康づくりの効果が評価された結果、受益者負担での利用料収入は約二億円であり、収益は中井町民に還元されています。町の発展は町内だけでなく、町外、首都圏に目を向け発信し、年間を通し中井に人を呼び込む施策は、パーク以外はありません。陳情者の思いに賛成します。

先見据えた活性化に、その一つとしてパークゴルフ場を増設してにぎわいのある町づくりを。町長は挨拶の中で、軌道もない、駅もない、何もないと、たびたびこの様な言葉を耳にしますが、町民の皆さんが心配して立ち上がったのです。「にぎわいのある町づくり」を、その結果が陳情書に表れたのです。パークゴルフ場は、平成十三年にオープンした時、

陳情する 賛成討論

原憲三議員

この様な状況を考えますと、芝生を休める必要があると考え、九ホール以上のコースが必要と考えます。町民の健康増進を目的に開設されたと思います。時の首長さんの先見の目は、素晴らしいと思います。平成二十四年陳情第一号に賛成の討論といたします。

利用者の七五%が町外で二五%しか町民は利用してないが、七五%の方々が利用料金を町に頂けて、たいへんありがたいことです。また、それだけ皆さんが健康意識の高まりを考え、健康増進につながれば、国民健康保険の負担が少なくなり、同じお金を支払うのであれば、治療に払うのではなく、健康維持にと、また健康増進に支払いたいという考えもあります。

町づくりを問う 一般質問

質問者本人の原稿を
尊重し、編集しています。

職員の自治会ごとの担任制は



小清水招男 議員

町長 地域支援課が窓口

協働のまちづくりを目指し活動が必要となり、このパイプ役と、自治会を元気にする事、住民自治の流れを支援するために、各自治会への町職員の担任制が求められます。

問 来年度以降も、自治会選出の非常勤特別職を廃止する考えか。

答 行政改革の中で、スポーツ振興員、生涯学習推進員等の見直しもテーマです。

問 来年度も、非常勤特別職を廃止した場合は、自治会の補助金に上乗せをしていくという考えか。

答 当面の間、自治会の交付金と考えていきます。さらに、各自治会運営費も、総合的に判断し、支援ができるような施策を考えていく、という考え方で。

問 自治会の活動支援策として、町職員を自治会担任で張りつけることができないか。

答 職員の地域担当制は、各自治会ごとに担当の町職員を決め、自治会と町行政を結ぶパイプ役となることで、地域の状況をきめ細かく把握し、行政と情報や課題を共有し、対応していくことができるシステムで、総合窓口となる地域支援課を設置した。地域支援課がパイプ役となり、総合的に支援していきたい。

問 井ノ口地区自治会から相談があったランタンフェスタは、地域支援課の活動ではないとされたが。

答 実行委員会には加わらないが、アドバイス等、町のできる範囲の中で、協力・支援します。



自治会の自主活動風景

再生可能エネルギー発電の設置を



原 憲三 議員

町長 メガソーラー実現に取り組みます

自治体や民間によるメガソーラー（大規模太陽光発電所）の設置が始まっている。太陽光や中小水力など再生可能エネルギー電力の買取りを電力会社に義務づける固定価格買取制度が始

まった。首都圏の自治体では公共施設の屋根を借り上げ、活用する取り組みを始めている。

問 中井町独自で遊休地等を活用し、メガソーラーを設置する考えはないか。

答 南部地区を適地として公表しており、事業化に向けて検討が進んでいる状況。

問 公共施設の屋上等に太陽光発電を設置する考えは。

答 公共施設への太陽光発電設備を促進する。広域避難場所の機能強化を図るため、二十五年井ノ口小学校へ設置を計画しています。

問 中村川、藤沢川、葛川に二十四時間発電可能な、災害時に対応できる中小水力発電を設置する考えはないか。

答 少量の水力発電なら可能であると思います。立地条件、また、投資効果もあることを見きわめた中で検討していきたい。

問 個人住宅向けに太陽光発電システム設置の、補助金額や件数をふやす考えは。

答 県と同額の補助金を町も支出している。設置費用等、上乗せ部分は考えていない。



太田市：民間によるのメガソーラー施設

全広域避難場所に食糧備蓄を



二宮章悟 議員

町長 広域避難場所での備蓄を行う

の運搬が必要であり、見直しが必要と考える。

近年大きな被害はないが、洪水ハザードマップでは中

震災の教訓として、県内では災害時に避難者に提供する食糧の備蓄量を拡充したり、種類、保管場所の見直しが行われている。

町は災害に備え、広域避難場所を五カ所指定しているが、食糧備蓄がされてなく、災害時は備蓄倉庫から

の氾濫が予測され、五所宮や役場周辺が冠水し交通が寸断される危険がある。

問

広域避難場所へ食糧備蓄の適正配備は。

答 広域避難場所である学校については、施設を利用して、できるよつ、早期に教育委員会と協議し、食料備蓄を行う。

広域避難場所に備蓄されている非常食



問 町民に保存のきく食糧備蓄の

望ませています。

答 一刻も早く、このよつな危険個所の改修は強く要望させていただきます。

問 藤沢川は過去に護岸が浸食され、応急処置で土のうが積まれている。ピンポイントでの改修要望は。

川の河川管理の要望は。記録的な集中豪雨は対岸の出来事ではなく、河床整理や未改修区間の整備促進が図れるよつ県と連携し、しっかりと取り組みます。

問 県に対し中村川、藤沢川の河川管理の要望は。

答 記録的な集中豪雨は対岸の出来事ではなく、河床整理や未改修区間の整備促進が図れるよつ県と連携し、しっかりと取り組みます。

問 県に対し中村川、藤沢川の河川管理の要望は。

答 記録的な集中豪雨は対岸の出来事ではなく、河床整理や未改修区間の整備促進が図れるよつ県と連携し、しっかりと取り組みます。

下水道事業の諸課題について問う



金子正直 議員

町長 下水道計画の見直しを含め取組む

よつに進めていきます。排水施設の能力を検証しながら、他の事業と共同し整備を進めます。

町では、多くの課題を明らかにし、下水道事業の目標や達成に向けた施策等について、平成二十三年三月、下水道ビジョンを策定しています。

問 浸水被害が頻発する危険性を同計画では指摘していますが、その対策をどの

答 防災対策として重要幹線管渠の耐震診断を行い、耐震化工事を進めます。減災対策として、他自治体の復旧応援協力をお願いをします。

問 下水道施設における防災対策と減災対策は、どう進められていますか。

答 防災対策として重要幹線管渠の耐震診断を行い、耐震化工事を進めます。減災対策として、他自治体の復旧応援協力をお願いをします。

問 線入金のほとんどが起債償還で使用し、約三十年の期限で当分の間、一般会計から三億から四億の支出はやむを得ないと考えています。

答 一般会計から、現在線入金が三億六、〇〇〇万円ほど支出を受けて下水道事業は運営しているが、この線入金は、将来減らすことはできませんか。

問 一般会計から、現在線入金が三億六、〇〇〇万円ほど支出を受けて下水道事業は運営しているが、この線入金は、将来減らすことはできませんか。

答 一般会計から、現在線入金が三億六、〇〇〇万円ほど支出を受けて下水道事業は運営しているが、この線入金は、将来減らすことはできませんか。

問 一般会計から、現在線入金が三億六、〇〇〇万円ほど支出を受けて下水道事業は運営しているが、この線入金は、将来減らすことはできませんか。

答 一般会計から、現在線入金が三億六、〇〇〇万円ほど支出を受けて下水道事業は運営しているが、この線入金は、将来減らすことはできませんか。

問 一般会計から、現在線入金が三億六、〇〇〇万円ほど支出を受けて下水道事業は運営しているが、この線入金は、将来減らすことはできませんか。

答 一般会計から、現在線入金が三億六、〇〇〇万円ほど支出を受けて下水道事業は運営しているが、この線入金は、将来減らすことはできませんか。

問 一般会計から、現在線入金が三億六、〇〇〇万円ほど支出を受けて下水道事業は運営しているが、この線入金は、将来減らすことはできませんか。

答 一般会計から、現在線入金が三億六、〇〇〇万円ほど支出を受けて下水道事業は運営しているが、この線入金は、将来減らすことはできませんか。

問 一般会計から、現在線入金が三億六、〇〇〇万円ほど支出を受けて下水道事業は運営しているが、この線入金は、将来減らすことはできませんか。

答 一般会計から、現在線入金が三億六、〇〇〇万円ほど支出を受けて下水道事業は運営しているが、この線入金は、将来減らすことはできませんか。



中井町下水道ビジョン

問 管渠整備にお金を使うのではなく、合併浄化槽を推進していくのはいかがか。
答 出来る限り努力して、下水道計画の見直しを図ってまいりたいと思います。



一度は見学してほしい郷土資料館



森 文嘉 議員

文化財電子資料館の開設を求める

他1問

町長

現段階では考えていない

中井町郷土資料館は、昔の農機具や古民具などを収集し、その変化を学習する場として昭和五十八年四月に開館しました。その後、町の文化財や史跡をめぐるガイドブックも発行、多くの方々に親しまれ、学びの場としてスタートしたものとされます。

問 八百五十点からの収集品の内、七十点余りが自家保管されています。世代交代された世帯も多く、その後の取り扱いはこの様にされていますか。

答 現在、自宅保存の七十数点については、その後、調べていません。確認をして今後の管理は検討課題とさせていただきます。

問 現在、町のホームページには、文化財や古民具・ハイキングコースはおろか、郷土資料館さえも紹介されていません。

答 文化財ウォーキングコースや、郷土資料館の施設、収集品を改めて紹介してはどうか。

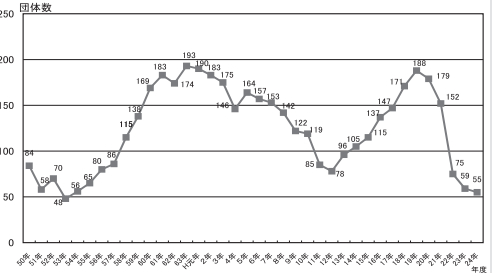
問 循環型社会の再構築を地域の自然を守り、持続可能な循環型社会の実現に欠かせない拡大生産者責任（処理・リサイクル費用を製品価格に含める制度）と、ポイ捨て防止やごみの発生抑制対策として効果的なデポジット制度（預かり金上乘せ制度）の導入を国に対し求めている。貴重な提案であり、この問題はこれからも真剣に関わりを持っていかねればならない。動向を見極めた中で、対応を考えたい。

平成24年度 不交付団体の状況

区分	平成24年度	平成23年度	平成22年度
都道府県	1	1	1
市町村	54	58	74
合計	55	59	75

(注) 合併特例の適用により交付税が交付される団体数を含み、特別区を含まない。

不交付団体数の推移(都道府県+市町村)



区分	平成24年度	平成23年度	平成22年度
不交付団体の人口	13.6百万人	14.0百万人	16.2百万人
不交付団体人口比率	10.6%	10.9%	12.7%

引用：総務省

普通交付税の交付団体では、この特別交付税の算定に減額調整がなくなるが、それ以外では財源不足の際に補填する起債の限度額は拡大するものの、財政運営上では特質した利点・欠点はない。今後、税収の急激な伸びが期待できない中で、行財政改革のスピードを高め、着実に実行していく。



曽我 功 議員

交付団体となった今後は

町長

行財政改革を着実に実行

神奈川県内の市町村交付税が七月に発表され、本町は平成四年から昨年度まで二十年間普通交付税を受け、きたが、交付団体に転落した。

財政の改善は短期的には企業誘致などがあるが、中長期的には子育て支援等も含め、地域の資源を利用した町づくりや、地場産業の

問 交付団体となった財政上の背景を歳入・歳出面から伺います。

答 交付の基準となる基準財政収入額では、二十三年度の法人税割が二億一、三〇〇万円、二十四年度の固定資産税等の算定額が七、六〇〇万円それぞれ下がり、総額で二億九、〇〇〇万円の減額となった。

活性化などを継続的にしていく仕組みづくりが大切だ。

問 交付団体となると、財政上や町政運営上でどんな影響があるか。

答 地方交付税は普通交付税が九四％、特別交付税が六％で、特別交付税は災害などで多額の支出が発生した場合に、その補填財源に充てられる。

地域エネルギー政策を協働で



戸村 裕司 議員

町長 自然エネルギーで活性化取組む

性は高まったが、地域経済の活性化につなげるため、町民、事業者、行政が協働する地域エネルギー政策の策定が望まれる。

問 エネルギー関連の全庁的な取り組み状況は。

原発に頼らないエネルギーの転換が不可欠になっているが、国内エネルギー自給率は四%と極めて低く、高額な輸入依存は、電気料金などの負担にはね返る。固定価格買取制度で再生可能エネルギー導入の実現

答 平成二十三年度は公共施設の節電目標を前年度対比二五%の削減と定め、達成した。引き続き中井町地球温暖化対策実行計画に基づき取り組みたい。

問 メガソーラー誘致の本町へのメリットは何か。

答 収入面においてメリットはほとんどないと考えてよいが、自然エネルギーを利用した地域の活性化に取り組んでいく必要がある。

問 大資本の進出だけでは地域の活性化にはつながらない。町民や町がオーナーシップを持つエネルギー政策を用意すべきではないか。

答 立地条件のよいところなら効果的だが、メリットがなければ普及できない。個々の対応なのではないか。

問 屋根貸しなど、みんなが公平に享受できるように仕組みづくりをしなければいけないのではないか。

答 県も再生エネルギー計画を打ち出している。町でも総合計画、環境基本計画をみながら庁内でも議論し、また住民にも意見を聞きながら、考える必要がある。

問 太陽光発電の補助金の消化状況は、昨年度と比べてどのようになっているか。

町内民家でも太陽光発電システムのとおりつけ



答 今年度設置件数の伸びが悪くなった。既存の建物は建て替えを考えながら設置を検討しているのではない

まちづくりと職員育成について



成川 保美 議員

町長 職員の能力・資質向上を図る

指導力、行動力と信頼関係が、今後のまちの将来に大きく左右されると考えます。

問 今後のまちづくりに入るを量る計画とは。

答 外からの企業誘致も含めて税収が得られるような仕組みをつくっていく。

問 職員自己啓発支援助成金交付の利用状況等は。

答 毎年三万円の予算で一万円を限度額。二十年度に一件の交付実績。周知が不足している部分もあるので、一層の周知に努める。

問 職場環境改善などにつながる、各職場での毎朝二分間スピーチを提案。

答 言われる良いところはこれからも極力進めていく。受動喫煙防止教育の促進を

問 神奈川県では、平成二十二年に受動喫煙防止条例が施行された。生活環境の保全とともに、住民を受動喫煙による健康被害から保護を目的としている。公共施設及び敷地内の禁煙の取り組み状況と、今後の受動喫煙防止教育の取り組みは。

答 小・中学校、幼稚園、保育園においては施設及び敷地内は全面禁煙。受動喫煙に対する正しい理解と吸う人のマナーが重要。正しい情報の発信と普及啓発に努める。改めて子どもや吸わない人の健康を考えた対応を、学校を通して保護者の方、学校を利用する方々に伝わるような努力をする。

1 たばこは吸わないようにしましょうね!

- たばこの煙には、ニコチンや一酸化炭素、タールなど、体に悪いものがたくさん含まれています。だから、絶対にたばこは吸わないようにしましょう。
- たばこの煙は、吸う煙(主流煙)よりも火のついた方からの煙(副流煙)に害のあるものが多く含まれています。たばこを吸っている人のそばで、この煙を吸う(受動喫煙)だけでも健康に害があります。だから、できるだけたばこの煙は吸わないようにしましょう。

主流煙に比べて副流煙には...

タール	⇒ 肺をよこし働きを悪くしたり、いろいろな病気にかかりやすくします。
一酸化炭素	⇒ 血液が酸素を運ぶのを邪魔します。
ニコチン	⇒ 血管を細くし血液の流れを悪くするので心臓に負担をかけます。また、たばこをやめにくくします。

主流煙: タール 3.4倍、一酸化炭素 4.7倍、ニコチン 2.8倍

副流煙: タール 1倍、一酸化炭素 1倍、ニコチン 1倍

引用：神奈川県リーフレット

問 人事評価制度の勤勉手当への反映はどのようになっているか。

答 二〇%の範囲内で上げることができ、評価は六



豪雨による崩壊が心配される中村川（富士見橋上流）

問 豪雨による崩壊が心配される中村川（富士見橋上流）の接種補助が

球菌ワクチン
高齢者肺炎
割の廃止は。
河川の計画的な整理と、藤
沢川の調査費用を計上した
旨を聞いた。引き続き必要
な要望は行つう。

低所得者にと
って大きな負
担となる資産
川の整備に力を入れるべき
だ。

地は利用でき
ず、農地・山
林への課税や
高すぎる国保税の軽減を
国庫負担の割合は、昭和五
十年の五〇%から二四%に
下がり、一人当たりの国保
税は約四万円から九万円に
倍増。国庫負
担増を求める。
老齢化で農
業に頼る農
民は利用でき
ず、農地・山
林への課税や
低所得者にと
って大きな負
担となる資産
割の廃止は。
高齢者肺炎
球菌ワクチン
の接種補助が

問 神奈川臨調は、県民が
利用する全ての施設の廃止
・移譲や独立採算・受益者
負担を打ち出し、放射能測
定や地震研究、食肉衛生検
査など安全に関する施設、
農水産業の技術センター等
や重度障害者やひとり親家
庭の医療費助成、民間保育
所運営費等、団体や市町村
補助を廃止、凍結するとし



小沢長男 議員

県民生活切捨てるの県臨調の撤回を 他2問

町長 撤回要請も含め対応

問 県民生活の切り捨てで
あり、深刻に受け止め、撤
廃を求めるべきです。

答 県臨調は住民生活に直
結し、市町村への負担転嫁
が生じれば財政運営に与え
る影響は重大であり、撤回
要請も含め対応を考える。

生涯に一度ならば年齢を七
十五歳から七十歳に下げる
ことで長生きできると思い
ますが。

問 国保会計全体に占める
国庫負担の割合は、昭和五
十年の五〇%から二四%に
下がり、一人当たりの国保
税は約四万円から九万円に
倍増。国庫負
担増を求める。
老齢化で農
業に頼る農
民は利用でき
ず、農地・山
林への課税や
低所得者にと
って大きな負
担となる資産
割の廃止は。
高齢者肺炎
球菌ワクチン
の接種補助が

問 河川整備を確実に
中村川の雑色中河原、
岩井戸、松本八反田間の整
備を求めてきたが、放置し
てきた。いつ豪雨が襲つか
わからない。中村川、藤沢
川の整備に力を入れるべき
だ。

答 富士見橋上流域からの
川底の整理が先送りとされ
非常に残念だ。県からは、
河川の計画的な整理と、藤
沢川の調査費用を計上した
旨を聞いた。引き続き必要
な要望は行つう。

議案等審議の結果 ※議長は採決に加わりません。(各議員の賛否は町のホームページに掲載しています。)

件名	月日	審議結果	件名	月日	審議結果
行政報告	9月4日		中井町教育委員会委員の任命について	9月14日	同意 (賛成全員)
一般質問	9月4日~9月5日		健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	9月14日	報告
中井町土地開発公社の解散について	9月5日	原案可決 (賛成全員)	中井町土地開発公社の経営状況の報告について	9月14日	報告
平成24年度中井町一般会計補正予算 (第2号)	9月5日	原案可決 (賛成全員)	中井町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について	9月14日	選挙 (指名推薦)
平成24年度中井町国民健康保険特別会計補正予算 (第1号)	9月5日	原案可決 (賛成全員)	平成24年陳情第1号 (総務経済常任委員会審査報告)	9月14日	不採択
平成24年度中井町介護保険特別会計補正予算 (第1号)	9月5日	原案可決 (賛成全員)	議員派遣の件について	9月14日	承認
平成24年度中井町下水道事業特別会計補正予算 (第1号)	9月5日	原案可決 (賛成全員)	議員・委員派遣結果報告について	9月14日	報告
決算の認定について (平成23年度中井町一般会計歳入歳出決算)	9月14日	認定 (賛成12反対1)	議会運営に関する事項	9月14日	議会運営委員会閉会中の継続審査
決算の認定について (平成23年度中井町国民健康保険特別会計歳入歳出決算)	9月14日	認定 (賛成全員)	所管事務の調査について (1) 交通対策について (2) 原子力発電の災害について (3) 農業問題について (4) 広域消防について (5) 中央公園の指定管理者制度について (6) 神奈川県緊急財政対策本部調査会について	9月14日	総務経済常任委員会閉会中の継続審査
決算の認定について (平成23年度中井町介護保険特別会計歳入歳出決算)	9月14日	認定 (賛成全員)			
決算の認定について (平成23年度中井町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算)	9月14日	認定 (賛成全員)			
決算の認定について (平成23年度中井町下水道事業特別会計歳入歳出決算)	9月14日	原案可決 (賛成全員)			
平成23年度中井町下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	9月14日	可決及び認定 (賛成全員)	所管事務の調査について (1) 放射線から子どもを守るため (2) こども園の設置に向けて (3) 福祉有償送迎サービスについて	9月14日	文教民生常任委員会閉会中の継続審査
中井町教育委員会委員の任命について	9月14日	同意 (賛成全員)			

議会改革に取り組んでいます

平成23年4月の改選を経て、議長の発議により、同年7月21日に全議員参加の議員改革検討協議会が発足されました。その活動を、平成25年3月制定を目指す「中井町議会基本条例」に向けた動きを中心にお知らせします。

みなさんの声

議会の役割って何？
議員の数は多くない？
もっと町民の意見を！

議会改革検討協議会、3つの課題

- ①議会基本条例の制定
- ②議員定数の適正化
- ③開かれた議会への取り組み



昨年7月 協議会発足



公開講演会「どんな議会が良い議会」
のようす(7月8日)

その他の調査研究

議員研修会

秋元孝男氏(県町村議
会議長会事務局参与)
による講演

視察研修

新潟県阿賀町
京都府京丹後市
奈良県天理市

県内視察

開成町 大井
町 大磯町

議会講演会参加

二宮町 山北町
小田原市

今年7月 公開講
演会を開催

これまでの会議数
協議会10回
役員会19回

中井町議会基本条例は、議会の役割や町民とのかかわりなどまとめたもので、議会報告会、意見交換の場、反問権など新たな取り組みも含む予定です。他市町村の議会基本条例の比較や議員定数と議会活動の関係など、役員会作成の資料を通して、あべき議会の姿を議論してきました。



議員へのアンケートを元に作成された論点シートの一部(この資料をもとに各条文の方向性を議論)

議員定数の適正化にむけて

議員間で研修会や意見交換を行ない、公開講演会のアンケート結果の共有などを踏まえ、今年9月に委員会構成など議会運営のあり方と定数の関係のアンケートを取りました。現在、今後の取り組み方や論点を役員会で取りまとめているところです

来年1月 条例案公表

1~2月
パブリックコメント
議会報告会実施

議会基本条例に、町民のみなさんの意見をできるだけ反映させるため、公開講演会のほかに、来年1~2月には議会報告会、パブリックコメントの実施を予定しています。みなさんのご理解ご協力をよろしく願います。

議会報告会開催のお知らせ

中井町議会基本条例のあらましをお伝えし、意見交換を行うため、以下の2か所で議会報告会を開催します
平成25年1月27日(日)午後6時~井ノ口公民館
平成25年2月3日(日)午後6時~改善センター
ぜひご参加ください



専門的知見の活用の一環として、公開講演会講師の松藤保孝氏(関西学院大教授)から意見を聞く、議会改革検討協議会役員会のようす

3月 議会基本条例制定予定 今後も改革を継続します

**** 議会のつぎ ****

八月

9日 議会運営委員会正副委員長事務局長研修会

自治体議会改革の課題について研修を受けた。

29日 議会運営委員会
九月定例会の運営について協議した。

九月

4日 定例会本会議
5日 定例会本会議
議会全員協議会

議会改革検討協議会

10日 定例会本会議
12日 定例会本会議
議会運営委員会

14日 定例会本会議
議会全員協議会

町の健全化判断比率及び資金不足比率、中井町土地開発公社の経営状況等の説明を受け、質疑を行った。

十月

4日 議会だより編集委員会

16日 議会だより編集委員会

25日 議会だより編集委員会

29日 議会全員協議会

報告 総務経済常任委員会

六月本会議で付託された「パークゴルフ場の増設（三十六ホール化）を求める陳情書」の審査について。

◎陳情内容

混雑しているパークゴルフ場の増設を行い、良質なコース・景観の良さ・交通の利便性などの優位性で、交流人口の増加を図り、町の活性化策としてほしい。

◎委員会の意見

①都市公園法上、総合スポーツ施設であり、駐車場や多目的グラウンドを潰すことは出来ないのでは。増設用地に問題がある。

②今後、指定管理者に公園管理を移行、使用料収入は直接的には町に入らず、現在の財政事情から増設は非常に厳しく、今は時期ではない。

◎少数意見

①町の活性化には一番の施策である。
②九ホールの増設から考えてみては。

◎審査結果

賛成少数により不採択と決定し、九月本会議で報告。

報告 文教民生常任委員会

七月十七日、九月六日に委員会を開催しました。

所管事務調査について

「子ども園の設置に向けて」

は、国の動向を踏まえて今後注視し、担当課より進捗状況について、資料提出をいただき調査研究する。

「放射線から子どもを守るため」

め」は、放射線の高い土砂の管理方法等について近隣市町の状況を調査確認する。

また、給食用食材の放射能チェックは近隣市町のデータでは不検出なので、今後も注視していく。

「福祉有償送迎サービスについて」

は、利用者数も増加し順調に推移しているが、一部補助金に頼っていることから今後、経営について検討し、デマンド交通と公共交通の兼ね合いについても引き続き注視していく。

町民の声

高田 大(半分形)

安心して若者が暮らせる希望のある町づくりを。職場を創ることや、自己表現の場を創っていく。

たとえば砂利採取の副産物に粘土が採れるとのこと。それを使った焼き物作りや職人を育てるための学校作り。また近年世界的にニーズが高まっている漢方薬を作るのもいい。それを専門とする農業学校などを立ち上げるなど中井の土地や特産物を使った町興しをする。

その他にも砂利採取跡地には太陽光発電所を建設するといったと思う。

そして忘れてはいけないのは心の豊かさを育てること。芸術作品の設置や、中央公園でクラシックやロック、ジャズのフェスティバルなどを行う。ちなみに毎年行われる苗場のフジロックフェスは今年十二万人の観客を集めている。これらすべてビジネスとしても魅力があるだろう。

活力と希望のある町には若者が集まると思う。

編集後記

温暖化による気温の上昇は、各地で集中豪雨が頻発し、被害が発生している。

友人が相模湾の海水温が上昇し、珍しい魚や色の薄いアジが釣れた、と話していた。気象の変化は確実に進んでいる。

災害に備え、自分の身を守る準備をしたい。

最近の傾向として、六月の会期中の傍聴者は三十二名、九月は陳情の採決もあり多数の方の傍聴を頂き、六十三名と増加した。議論も活発に行われ、議会に対する関心が高まっていることも事実だと思います。皆様の期待に答えられるよう更に努力いたします。

議会だより編集委員会

- 委員長 森 丈嘉
 - 副委員長 戸村 裕司
 - 委員 金子 正直
 - 委員 曾我 功
 - 委員 二宮 章悟
- 問い合わせ
議会事務局

〇八一一三九〇五